

## 平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	8061
事業コード		事務事業名	教材制作・管理事業（視聴覚ライブラリー）	
根拠法令等	蒲都市視聴覚ライブラリー規則他	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	市内小中学校等に対して
手 段	自主教材制作、視聴覚教材・機材の貸し出し、講習会実施により
想定する成果	身近な教材の提供、授業支援、機器利用の多様化を図る。

### ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
貸出件数	317件	505件	360件
養成講習	1回 9名	1回 10名	1回 20名
自作教材	3テーマ	3テーマ	2テーマ

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	教材、教具貸出件数	講習会参加率
成果指標の説明	教材、教具貸出件数	講習会参加数／計画数 × 100

### ⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	360件
	実績	317件	505件	—
成果指標 ②	計画	—	—	100.0%
	実績	45.0%	50.0%	—
事業費	事業費	2,148	1,813	2,100
	人件費	4,822	4,826	4,774
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	6,970	6,639	6,874
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,970	6,639	6,874

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	自作教材は予定通り進んでいる。今後はさらなる効率化の為、利用に供する機器整備等が必要である。
経済効率性	2	2	ネット配信を進めているが、利用側の機器整備が遅れており、効率的な活用はまだ少ない。
事務効率性	2	2	今後もネット配信を進めて、利用しやすい環境を作っていく必要がある。
必要性	3	3	視聴覚・情報教育は、教育現場で重要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	2	蒲郡市ウェブサイト上で、学習支援ソフト及び学習教材を利用することができる。
合計	11 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	さらにネット配信を充実することによって、利用性の向上を図り教職員及び市民が利用しやすい環境を作る。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成11年度より教材・教具の貸し出しを電話、ファックス等で受付し、利用手続きを簡素化している。 又、平成13年度より学校間イントラネットにて貸し出しビデオガイド等の情報提供をしている。	

⑧今後改善すべき点

現在、教材・教具の受け渡しに手数がかかる。デジタル化をし、ネット配信できるものにおいては、さらに支援を進めていく必要がある。 利用者側の機器及びインフラ等の整備が充実していないこと等、多くの課題が山積しているの で、使用者側の整備状況に応じた教材配信に努める必要がある。
---

⑨平成19年度予算に反映する項目

ライブラリー機器の老朽化にできるだけ早急に対応するための予算要求をしていきたい。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1611
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	生徒指導対策事業				
根拠法令等	生徒指導研究推進委員会要項		A法令	B条例	C規則	<b>Dその他</b>	Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	市内小中学校児童生徒に対して
手 段	児童生徒の健全育成や魅力ある学校づくりを行うことにより
想定する成果	一人一人の児童生徒が楽しく安心して学校生活を送ることができる。

### ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
いじめの発生件数	小13件、中3件	小2件、中2件	小2件、中2件
不登校の発生件数	小12件、中44件	小20件、中71件	小12件、中60件
暴力行為の発生件数	小0件、中1件	小0件、中0件	小0件、中0件

### ④成果指標

成果指標名	①	②	③
	いじめ発生率	不登校の発生率	暴力行為の発生率
成果指標の説明	小、発生件数÷児童数 中、発生件数÷生徒数	小、発生件数÷児童数 中、発生件数÷生徒数	小、発生件数÷児童数 中、発生件数÷生徒数

### ⑤事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	小0.04% 中0.08%
	実績	小0.3% 中0.1%	小0.04% 中0.08%	—
成果指標 ②	計画	—	—	小0.25% 中2.44%
	実績	小0.25% 中1.74%	小0.41% 中2.87%	—
成果指標 ③	計画	—	—	小0% 中0%
	実績	小0% 中0.03%	小0% 中0%	—
事業費	事業費	2,209	2,504	2,295
	人件費	3,214	3,218	3,182
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	5,423	5,722	5,477
財源内訳	国			
	県		350	350
	市債			
	その他			
	一般財源	5,423	5,372	5,127

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	いじめ・暴力行為の発生件数は、減少してきているが、不登校児童生徒数が増加傾向にある。
経済効率性	2	2	17年度までは、委託金として各校へ配分していたが、18年度から補助金になったため、支出の用途をより精査したい。
事務効率性	3	3	
必要性	3	3	
小計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成18年度から、「あすなる親の会」を「不登校を考える親の会」とし、あすなる教室へ通級・入級している子の親だけでなく、不登校に悩む親の会として参加者も増えてきた。	

⑧今後改善すべき点

不登校児童・生徒が17年度増加してきたので、各学校・保護者・関係機関との連携を密にし、改善を図りたい。
---

⑨平成19年度予算に反映する項目

各中学校には、スクールカウンセラーがすべて配置されたので、中学校3校に配置されていた心の相談員を、小学校に各中学校区毎に一人は配置できるように要求したい。（7名）
---

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1603
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	特別支援教育推進事業		
根拠法令等	蒲郡市特別支援教育推進要項・会則	A法令	B条例	C規則	Dその他

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市立小中学校児童生徒に対して
手 段	特別支援教育を推進することによって
想定する成果	障害児者と健常児者がお互いを理解することができる。そして、障害のある児童生徒への適正な就学・教育が実現し、社会参加への基礎を見につけることができる。

### ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
児童生徒総数	7,311人	7,241人	7,175人
適性学級在籍児者数	71人	80人	77人
校外学習実施経費	350,000円	350,000円	350,000円
作品展開催経費	130,000円	130,000円	130,000円
特別支援教育指導補助員賃金	3,681,220円	4,713,860円	6,677,000円

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	適性学級合同校外学習参加者数	適性学級作品展参観者数
成果指標の説明	適性学級児童生徒+引率者	期間内参観された延べ人数

### ⑤事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	—
	① 実績	113人	122人	125人
成果指標	計画	—	—	—
	② 実績	662人	635人	—
事業費	事業費	4,533	5,539	7,771
	人件費	4,822	4,826	4,774
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	9,355	10,365	12,545
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	9,355	10,365	12,545

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	
経済効率性	3	3	
事務効率性	3	3	
必要性	3	3	特別支援教育の理解のため、社会のニーズのためにも、現在の活動を継続・拡大していく必要がある。
小計	12 /12 満点中	12 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	12 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
適性学級合同作品展は、障害のある児童生徒への理解を図るためや、特別支援教育の実態を広く知ってもらうよい機会である。小中学校に在籍する児童生徒だけでなく、養護学校にも出品を依頼している。即売会を実施し児童生徒の学習の場としている。	

⑧今後改善すべき点

障害のある児童生徒や特別支援教育への理解を、さらにすすめていくために現在の活動を継続するとともに、広く地域社会へ広めていくことが重要である。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

適性学級に在籍する児童生徒だけでなく、普通学級に在籍する重度・重複の障害のある児童生徒、LD・ADHD・高機能自閉症などの発達障害等のある児童生徒など、多くの子どもへの支援が必要となるため、平成18年度7人6,677千円の特別支援教育指導補助員賃金を、10人9,538千円程度に増額したい。
---

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1606
事業コード		事務事業名	私学振興事業	
根拠法令等	蒲郡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱他	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	学校法人及び私立学校就学者の保護者に対して
手 段	私立学校の運営費、入園料及び授業料の一部を補助することによって
想定する成果	保護者の経済的負担の軽減等を図り、私立学校の振興に資する。

### ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
私立幼稚園等運営費補助	4園 2,920,900円	4園 2,939,200円	4園 2,992,000円
私立幼稚園就園奨励費補助	604人 42,519,100円	608人 44,333,300円	602人 49,657,500円
私立高等学校等授業料補助	315人 5,778,000円	323人 6,089,200円	372人 7,987,800円

### ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	対象者率（私立幼稚園就園奨励費補助）	
成果指標の説明	対象者／在籍者数 × 100	

### ⑤事業の進捗状況

		（ 一般会計 ）		（千円）
		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	78.4%
	実績	75.8%	79.2%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	51,218	53,362	60,637
	人件費	4,018	4,022	3,978
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	55,236	57,384	64,615
財源内訳	国	11,229	11,396	12,415
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	44,007	45,988	52,200

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	交付要綱の見直しにより補助金の格差是正を図った。
経済効率性	3	3	
事務効率性	2	2	申請書類の簡素化・課税額調査等事務の効率化を図る必要がある。
必要性	3	3	私立学校の振興・保護者の負担軽減に役立っている
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成16年度にて、無認可幼稚園の補助金の額については、積算した額の合計額に0.6を乗じていたものを0.8に引き上げ、認可幼稚園と無認可幼稚園の運営費補助金の格差是正を行った。	

⑧今後改善すべき点

補助対象区分・補助額が改正されるため、広報などで周知を図る。申請書類の見直し。
---

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】



## 平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校教育課	内線等	1611
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	(財) 蒲郡市教育文化振興会事業		
根拠法令等	蒲郡市中学生海外派遣事業 (要項)	A法令	B条例	C規則	Dその他

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

### ②事務事業の内容

対象 (受益者)	蒲郡市内の各中学校に在籍する2年生に
手 段	オーストラリア・ブラックバーン校へ派遣することによって
想定する成果	他国の中学生との交流やホームステイ等を通して、国際感覚と豊かな心を育成する。

### ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
対象人員	847人	823人	802人
派遣人員	17人 (生徒14、教師3)	17人 (生徒14、教師3)	17人 (生徒14、教師3)
内蒲郡市からの補助金	1,615,000円	1,615,000円	3,910,000円 (市単独事業)

### ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	派遣生徒及び引率教師の派遣事業満足度	派遣事業参加率
	派遣後のまとめとして作成する「訪問記」の事後アンケートによる。	参加者数/中学2年生総数 × 100

### ⑤事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	100.0%
	実績	100.0%	100.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	1.75%
	実績	1.65%	1.7%	—
事業費	事業費	1,615	1,615	3,910
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	3,222	3,224	5,501
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,222	3,224	5,501

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	事後のアンケート結果から判断して、生徒・教師共に満足度は高い。
経済効率性	3	3	今後も同額の援助をお願いしたい。
事務効率性	3	3	事前・事後の研修会が充実し、生徒の研修意欲も高い。
必要性	3	3	参加生徒は、ホームステイというめったにできない体験を強く希望しており、今後も継続したい。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	国際交流教育は、年々その必要性を求められており、本市の海外派遣事業は、今後もぜひ継続していきたいと考える。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
生徒は、ブラックバーン校での交流とホームステイを多くしたいという希望をもっており、平成15年度から5泊を継続している。	

⑧今後改善すべき点

毎年、ブラックバーン校では17名のホームステイ先を準備しなければならないので、負担になるようであれば、教師はホテル泊にすることも考えていかなければならない。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

毎回、ホームステイ先（17人分）を探してもらい相手校にたいへん時間と労力がかかっている。費用は増えるが、教師の宿泊分（3人分）をホームステイからホテル泊に予算化したい。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】